

☆中将姫誓願桜観桜会→4月12日(日) 会場 願成寺境内

配布

大洞	4-71
東山	4-51
北山	38-358
コモン北	5-89
桜台	23-335
桜市	40-260
柏台	31-330
柏市	26-188
桐丘	23-197
桐市	6-38
紅葉	21-263
紅市	16-109
桜2P	1-21
計	237/2310

## 正しく春 青春から正春に酔いしれる

一岐阜聖徳学園大学図書館 全日本大学開放推進機構  
理事・林 憲和さん



あれは忘れもしない第1回の鳳ホールコンサートにおいて、感動したシーン。おそらく学生時代、あるいは職場や地域において20代から30代に盛んで楽しまれたであろう歌声喫茶や歌声活動の再現か。今まさに還暦を過ぎ、青春が再び廻るかのよう、そしてそれは青い春の青春ではなく、これぞ、ゴールデンエイジが楽しむ、正(まさ)しく春、正春であることを実感し快い感動に酔いしれたものでした。

そしてコンサートに限らず、黄緑の「絆」文字入りユニフォームの軍団が躍り活躍する芥見東から街へ、学校へ、柳ヶ瀬へ、岐阜駅へ、県外へあらゆるコミュニティーへの広がりを持つ幅広い諸活動に対して社会の清涼剤として、そして明るい未来を切り開く予感に只々 敬意と称賛をしてやまないのであります。

不肖私も学園に身を置くものとして、大学の使命である「教育・研究・奉仕」、特に戦後の学制改革に盛り込まれつつ、ついに21世紀を迎えるまで大学が果たすことを忘れていた「奉仕(貢献・交流)」の実践として、皆様と共に手を携えて、学生の元気や教職員のマンパワーを益々地域の元気や活性化に資するよう努めたいと思いますのでよろしくご支援ご指導をお願いいたします。□■

## ヒヨドリ 夫婦がここに根付けた証か

一柏台支部・神田 啓一さん

去年の春、道路に面した庭木にヒヨドリが巣を作った。せっかくのことなので抱卵の時期からそっと見守っていたところ、二羽のひな鳥は無事成長し、やがて巣立っていった。



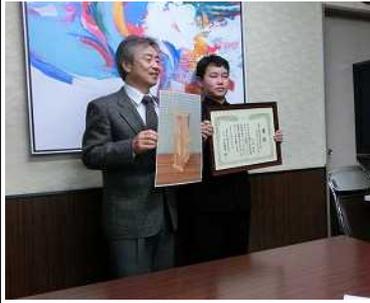
初冬を迎えると、メジロとヒヨドリが庭の柿の実をついばみに来るようになった。その実が食べ尽された頃、庭木に餌台をセットしてみかんや麻の実を置くようにした。すると、ほどなくまたヒヨドリが登場し、みかんを食べていくようになった。本当は時々姿を見せるシジュウカラなどに来てほしいのだが、どうもそうはいかず、我が家の庭はヒヨドリのテリトリーとなってしまったようだ。

この家に転居してきて3年。こうしてヒヨドリにまで受け入れられたのは、私たち夫婦がこの地に根付けた証かもしれない。□■

## 藍川東中 熊崎さんが全国で9位に輝く

一藍川東中学校校長・大塚 健司さん

本校中学3年生の熊崎颯哉さんが、全国中学生ものづくり教育フェア生徒作品コンクールで全国市町村教育委員会連合会会長賞を受賞しました。これは、全国9位にあたる大変立派な賞です。本校は、ものづくり教育に力を入れています。学校としては平成22年度の「あなたのためのおべんとうコンクール」で厚生大臣賞(全国2位)を受賞して以来の快挙となります。



熊崎さんの作品は細部まで大変いいねいに作られた作品で、地道な努力の成果がこのように評価されたことは、熊崎さんにとって大きな自信と力になったと思います。今後も、ものづくりの楽しさを味わい、第二、第三の熊崎さんが現れるよう、学校としても力を入れていきたいと思っています。□■

## REST SAKURA 公民館の解放について

一桜台支部・KNさん

少子高齢化が進む中。桜台でも深刻化し高齢と共に空き家が増して、ひとり暮らしの家庭も多く見受けられるようになりました。

そうした時流の中、孤立しそうな人たちが少しでもお互いに助け合って生きることが出来るよう、公民館の解放をお願いして始めたのが「レストSAKURA」です。

毎週火曜日の9時から14時30分迄自由な時間に集まって、何の拘束もなく親睦を深め合うたったそれだけのことでしたが、集まった人たちからは、久しぶりに会話ができて鬱積した心が晴々とした気分となり「元気を持ち帰ることが出来ました」との言葉さえもらうことが出来ました。



挨拶で始まり心からありがとうございますと言える、そして終わりにはみんなで清掃をして帰る、たったそれだけのことで連帯感が生まれ孤立感が無くなれば、そして今は小さな輪でも少しずつでも広がっていくことがあれば、公民館の解放の意義もあるのではないのでしょうか。□■

\*「こうしては？」のご意見や話題・知恵・要望などを、ご連絡先を付して東公民館ポストまでお寄せください

☆M.S.J.C. Alive → 3月14日(土) 開演 13時30分 会場 鳳ふれあいホール 会費 500円 主催 芥見東音楽同好会

**芥見東 これからの地域の在るべき姿**

—地域活性化センター副参事・津隈 祐喜さん

当センターで発行しております月刊誌「地域づくり」掲載記事取材のため、芥見東・南地区のコミュニティバス及び芥見東自治会連合会の取り組みについて話を伺いました。



今回の取材で印象に残った点は、皆さんが取り組んでおられる多彩な取り組みの殆どを、役員の皆様が地域の方々と一体となり自らの手で取り組まれている点です。これからの地域の在るべき姿が、ここでは自然に形成されているのだなと感じました。また、取材を行った事務室内は和気あいあいとした雰囲気があり、これが芥見東地区で取り組まれている様々な企画、アイデアの原点なのだな・と感じました。非常に居心地が良く、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

最後になりましたが、皆様には取材にご協力頂きありがとうございました。 □■

**共助 「見守り愛チーム」に関心を！**

—紅葉が丘市営支部・GMさん

「見守り愛チーム」ってご存知ですか？ 見守り愛チーム？ チームリーダー？ 何それ？ 引っ越して1年にならないうちに引き受けた役の一つに疑問を感じました。4月に連合会の方から「見守り愛チーム」について説明会がありました。安否確認のための名簿作り、避難訓練、日頃からのご近所の見守りや助け合いを目的としたチームであるとのこと。

去年も大雨や土砂災害、地震と災害が続きました。そんな中、地震のあった白馬村では共助のシステムが機能し住民が助け合い、安否確認が素早く行われたことが



マスコミで報じられました。「あっ、見守り愛チームとはこういう時のためなんだ」と気づかされました。

災害があった時の助け合いと共に、日頃から認知症の方や孤独死を防ぐための見守り、ちょっとしたお手伝いを目的とする「見守り愛チーム」があることをよく理解できた1年でした。皆さんも是非「見守り愛チーム」に関心を持っていただきたいと思います。 □■

**水防団 皆様災害に備えての準備は？**

—芥見水防団分団長・遠藤 成幸さん

毎年、梅雨の時期を前に、洪水を想定した水防連合演習を岐阜市雄総の長良川右岸で行います。

9月には、東部5団の合同水防訓練を行い、技術向上に努めてきました。

地域の防災訓練では、藍川東中学3年の生徒さんに土のう作りを体験してもらいました。こうした技術を身に付けて、いざという時に地域の力となってほしいです。

去年は、この地域に豪雨があり、東公民館の横の道は川、階段は滝のようで恐怖を覚えました。山田川は満水で、下流では田畑が冠水し海のようになり団員は土のう作りやパトロールなど各地域の災害防止にあたりました。災害時には人手が不足します。自分の身は、自分で守ることが大事です。我が家では、数日分の水・非常食を準備しています。皆様も災害に備えて準備をしておいてはいかがでしょうか？ □■



**災害 天災は忘れないうちにやってくる**

—紅葉が丘支部支部長・河口 益清さん

支部長を務めていなければ知る機会が無かったかもしれないことがあります。それは去年の8月17日(日)にこの地を襲った集中豪雨です。

岐阜市は芥見東地区に土砂災害避難勧告を発令しました。小雨になってから自治会長さんと巡回しましたが、幸いにも大きな被害はありませんでした。しかしその時感じたことは、この紅葉が丘は思った以上に山に囲まれた団地であることを知りました。そして一部は土砂災害特別警戒区域に接しています。また、同時期に起こった広島市の大規模土砂災害のすさまじい被害を知り、とても他人事とは思われませんでした。

近年、異常気象などと言われていますが、毎年どこかで大きな自然災害が起きています。最近、天災は忘れないうちにやってくるきてしまいます、どんな災害でも他人事とは思わないで暮らしていかなければと思っています。 □■

☆芥見東公民館からのお知らせ☆  
公民館に入ってすぐ右の下駄箱の上に置いてあったAEDがいつでも使えるように公民館の外に設置しました  
緊急時にはご使用下さい。



☆2月某日、家庭から出したごみ袋入りの普通ごみが山田川（北山新橋の近く）に6個投げ込んでありました。今回で2回目・・・いたずら！